

まず、シュッツの第1曲と終曲合唱の歌詞を掲載した後、楽譜校訂者 Arnold Mendelssohn が推奨する挿入コラールの歌詞を掲載する。これらは単語ずつの意味がわかったほうが良いので、逐語訳の形で掲載する。コラールは第1曲の前と終曲の後、すなわち全演奏の最初と最後に入るほか、受難物語の途中5つの場面に挿入される。なお、受難物語部分の訳は別ファイルとする。

第1曲

Das	Leiden	unsers	Herren	Jesu	Christi,
	受難	我らの	主	イエス・キリストの	
	wie	uns	das	beschreibet	
	～による	我々に	それを	書いている	
		der	heilige	Evangeliste	Johannes.
			聖なる	福音史家である	ヨハネスが

「聖なる福音史家ヨハネが我々に書き示した所による、我らが主イエス・キリストの受難」

終曲

Michael Weiße 「Christus, der uns selig macht」 第8節

O	hilf	Christe ,	Gottes	Sohn,	助け給え、神の子キリストよ
おお、助け給え		キリストよ	神の	子よ	
durch	dein	bitter	Leiden,		汝の辛い受難を通して。
～を通して	汝の	辛い	受難を		
daß	wir	dir	stets	untertan	我々があなたに変わらず従い
	我々が	あなたに	不変の	～に臣従する	
all	Untugend	meiden,			全ての不徳を避けられるように、
全ての	不徳を	避ける			
deinen	Tod	und	sein	Ursach'	あなたの死とその原因を
あなたの	死	と	その(死の)	原因	
Fruchtbarlich	bedenken,				実り豊かに考えられるように、
実りある	熟慮する				
dafür	wiewohl	arm	und	schwach,	あなたの援助の代わりに、
その代わり	～ではあるが	貧しい	そして	弱い	どれほど貧しく弱くても
dir	Dankopfer	schenken.			あなたに感謝の捧げ物を送れるように。
あなたに	感謝の捧げ物を	進呈する			

CHORAL①……第1曲の前

Paul Stockmann (1603-32) 「Jesu Leiden, Pein und Tod」 第33節

Jesu, deine Passion イエスよ、あなたの受難は	イエスよ、あなたの受難は
ist mir lauter Freude, である 私にとって 公然の喜び	私にとって公然の喜びです。
deine Wunden, Kron, und Hohn あなたの傷(複数) 冠 そして 嘲笑	あなたへの傷、冠、そして嘲笑は
meines Herzens Weide, 私の心の牧場(喜び)です。	私の心の牧場(喜び)です。
meine Seel auf Rosen geht, 私の魂はバラ(の園)へ向かう	私の魂はバラ(の園)へと向かいます、
wenn ich dran gedenke, の時に 私が それについて※ 考える	私はその事について思う時には。 ※ daran
in dem Himmel eine Stätt ～において 天 一つの場所を	その故に、天において居場所を
mir deswegen schenke. 私に その故に 与えて下さい	私にお与え下さい。

CHORAL②……「父が与えた杯を飲まずにいられようか」の後

Ernst Christoph Homburg (1605-81) 「Jesu, meines Lebens Leben」 第1節

Jesu, meines Lebens Leben, イエス 私の命の命	イエスは私の命の命
Jesu, meines Todes Tod, イエス 私の死の死	イエスは私の死の死
der du dich für mich gegeben (関代) あなたは あなたを 私のために 与えた	あなたは自らを私のために投げ出した
in die tiefste Seelennot, ～の中へ(4格) この上なく深い 魂の苦しみ	この上なく深い魂の苦しみの中へ
in das äußerste Verderben, ～の中へ 非常な 破滅	非常な破滅の中へ。
nur daß ich nicht möchte sterben: ただ～のため 私が ～ない ～と望む 死ぬ	ただ私が死なないようにと。
Tausend-, tausendmal sei dir, 何千も 何千回も あれ あなたに	そのため、何千回もの感謝があなたに、
liebster Jesu, Dank dafür. 愛する イエス 感謝 そのため	なされますように。愛するイエスよ。

CHORAL③・・・「私が正しいことを言ったのなら、なぜ私を撃つのか？」の後
Paul Gerhardt(1607-76)「O Welt, sieh hier dein Leben」第3節

Wer hat dich so geschlagen, 誰があなたをこのように打ったのですか？
誰が (完) あなたを そのように 打った

mein Heil, und dich mit Plagen 我が救いよ、誰があなたを苦しみでもって、
私の 救いよ あなたを ～で 苦しみ

so übel zugericht'? そんな酷い目に合わせたのですか？
そのように ひどい目に遭わせた ※ 4格 übel zurichten(酷い目にあわせる)

Du bist ja nicht ein Sünder あなたは罪人では決してありません、
あなたは ～ではない 罪人

wie wir und unsre Kinder, 私たちや、私たちの子供らのように。
～のように 我々 我々の 子供ら

von Missetaten weißt du nicht. あなたは悪事について何も知らないのです。
～のことを 悪事 知る あなたは ～ない ※ von etw wissen(～について知っている)

CHORAL④・・・「私の国はここには無い」の後
Johann Jakob Rambach(1693-1735)「König, dem kein könig gleicht」第1節

König, dem kein könig gleicht, どの王とも比べられない王よ。
王 ～ない 王 似ている

dessen Ruhm kein Mund erreicht, その荣誉はどんな言葉も及ばない。
(関代)その 荣誉は ～ない 口 匹敵する

dem als Gott das Reich gebühret, 御国は神と同じく彼に相応しい。
(関代)に ～と同じ 神 国は 相応しい、～のものである

der als Mensch das Zepter führet, 彼は人として主権を統率する。
(関代)は ～として 人 王笏・主権を 統率する ※ das Zepfer führen(君臨する)

dem das Recht gehört zum Throne 権力は玉座にある彼に属する、
(関代)に 権限は ～に属する ～に 玉座

als des Vaters eingem Sohne, 父の唯一の息子として。
～として 父の 唯一の 息子 ※ eingem?

den so viel Vollkommenheiten そんなにも多くの完全性が
(関代)を そんなにも多くの 完全性(複)が

krönen, zieren und begleiten. 彼を戴冠させ飾り随伴する。
戴冠させる 飾る 随伴する

CHORAL⑤・・・兵士達がイエスに平手打ちを食らわせた後

Paul Gerhardt (1607-76) 「O Haupt voll Blut und Wunden」 第1節

O Haupt voll Blut und Wunden, おお、御頭よ に充ちた 血 と 傷に	おお、血と傷にまみれた御頭よ、
voll Schmerz und voller Hohn, に充ちた 苦痛 と たくさんの 嘲笑に	苦痛と、嘲笑に充ちた(御頭よ)、
o Haupt, zu Spott gebunden おお 御頭よ 嘲りのために 縛られた	おお、嘲りのために
mit einer Dornenkron, ～で 茨の冠	茨の冠で縛られた御頭よ、
o Haupt, sonst schön gezieret おお 御頭よ さもなければ 美しく 飾られた	おお、御頭よ、さもなければ美しく
mit höchster Ehr und Zier, ～で 最高の 荣誉 と 装飾(誇り)※ Zierde	最高の荣誉と誇りで飾られていたのに、
jetzt aber hoch schimpfieret, 今や しかし 甚だしく 誹謗された	今や甚だしく辱められた(御頭よ)、
gegrüßet seist du mir! 挨拶を受けて下さい あなたは 私の	私の心からの挨拶を受け入れてください。 seist(seinの2人称単数接続法、要求・願望)

CHORAL⑥・・・イエスが十字架に付けられた直後

Paul Gerhardt (1607-76) 「O Welt, sieh hier dein Leben」 第1節

O Welt, sieh hier dein Leben おお 世界よ 見よ ここに お前の 命を	おお、世界よ、ここにお前の命を見よ、
am Stamm des Kreuzes schweben, ～に 幹 十字の 懸かっている	十字架に懸かっている(その命を)。
dein Heil sinkt in den Tod; おまえの 救いは 沈む ～の中に 死	お前の救いは死の中に沈む。
der große Fürst der Ehren 偉大な 王侯・統治者は 荣誉の	偉大な荣誉の統治者は
läßt willig sich beschweren ～させる 喜んで 自らを 重苦しくする	喜んで自らに苦難を課した、
mit Schlägen, Hohn und großem Spott. ～で 殴打 侮蔑 多くの 嘲笑	殴打・侮蔑、そして多くの嘲笑によって。

CHORAL⑦……終曲の後

Paul Gerhardt (1607-76) 「O Haupt voll Blut und Wunden」 第 8 節

<p>Ich danke dir von Herzen, 私は 感謝する あなたに ～から 心</p>	<p>私はあなたに心から感謝します、</p>
<p>o Jesu, liebster Freund, おお イエスよ 愛する 友・恋人</p>	<p>おお、イエスよ、愛する恋人よ、</p>
<p>für deines Todes Schmerzen, ～の故に あなたの 死の 苦痛</p>	<p>あなたの死の苦痛の故に、</p>
<p>da du's so gut gemeint. そこで あなたはそれを※ 良く 思った</p>	<p>あなたはその苦痛を良しとされていたのです。 ※ du's = du es</p>
<p>Ach gib, daß ich mich halte ああ、与えよ ～のこと 私が 私を 保つ</p>	<p>ああ、私が身を保てるようにしてください。</p>
<p>zu dir und deiner Treu ～へ あなたに あなたの 忠実に</p>	<p>あなたとあなたの忠実に対して。</p>
<p>und, wenn ich einst erkalte, そして ～の時に 私が いつか 冷える(=死ぬ)</p>	<p>そして、私がいつか死ぬときには</p>
<p>in dir mein Ende sei. あなたの中に 私の 終わりが ありますように</p>	<p>あなたのもとに私の最期がありますように。</p>

<補足>

- ▶ シュッツの終曲 Michael Weiße 「Christus, der uns selig macht」 第 8 節 「O hilf Christe, Gottes Sohn」
この歌詞はバッハ「ヨハネ受難曲」第 37 曲でも歌われる。
当コラール第 1 節「Christus, der uns selig macht」は同「ヨハネ」第 2 部冒頭第 15 曲で歌われる。
- ▶ ①. Paul Stockmann (1603-32) 「Jesu Leiden, Pein und Tod」 第 33 節 「Jesu, deine Passion」
この歌詞は BWV.159 「Sehet! wir gehn hinauf gen Jerusalem」(復活祭前第 7 日曜)終曲、および
BWV.182 「Himmelskönig, sei willkommen」(棕櫚の日曜日)第 7 曲でも歌われる。
またバッハ「ヨハネ」の第 2 稿において、第 11 曲の後に挿入されたバス・アリアと共に
歌われるが、このアリアは第 3 稿以降ではカットされている。

さらに当コラール第 10 節「Petrus, der nicht denkt zurück」は同「ヨハネ」第 1 部終曲第 14 曲、
第 20 節「Er nanm alles wohl in acht」は同「ヨハネ」第 28 曲、
最終第 34 節「Jesu, der du warest tot」は同「ヨハネ」第 32 曲でバス・アリアと共に歌われる。
- ▶ ⑥③. Paul Gerhardt (1607-76) 「O Welt, sieh hier dein Leben」 第 1 節⑥、第 3 節③
当コラール第 3 節「Wer hat dich so geschlagen」は、バッハ「マタイ」第 37 曲で歌われるほか、
第 4 節「Ich, ich und meine Sünden」とセットで同「ヨハネ」第 11 曲でも歌われる。
また、第 5 節「Ich bin's, ich sollte büßen」は同「マタイ」第 10 曲で歌われる。
このコラールの原旋律は Heinrich Isaac 「Innsbruck, ich muss dich lassen」とされている。
- ▶ ⑤⑦. Paul Gerhardt (1607-76) 「O Haupt voll Blut und Wunden」の第 1 節⑤、第 8 節⑦
当コラールはバッハ「マタイ」の中核としてその第 54 曲で第 1 節と第 2 節「Du edles Angesichte」
が歌われる。第 5 節「Erkenne mich, mein Hüter」は第 15 曲で、第 9 節「Wenn ich einmal soll scheiden」
は第 62 曲で歌われる。第 6 節「Ich will hier bei dir stehen」は「マタイ」第 17 曲の他に、BWV.159
の第 2 曲でアルト・アリアとともに歌われる。

※付：校訂者 A.Mendelssohn 推奨の CHORAL ③は次の歌詞である。

「私が正しいことを言ったのなら、なぜ私を撃つのか？」の後に

Ernst Christoph Homburg (1605-81) 「Jesu, meines Lebens Leben」 第5節

Du hast wollen sein geschlagen あなたは ~ようとした (受) 殴られる	あなたは、殴られようとした、
zu befreien mich von Pein, 解放する 私を ~から 苦痛	私を苦痛から解放するために。
fälschlich lassen dich anklagen, 虚偽の ~させる あなたを 告発する	虚偽の告発をさせておこうとした、
daß ich könnte sicher sein; ~のため 私が ~できる 確実に ある	私がしっかりと生きていけるように、
daß ich möge Trost erlangen, ~のため 私が ~できる 慰めを 得る	私が慰めを得られるように。
hast du ohne Trost gehangen. (完) あなたは ~無しで 慰め 未決である (hangen)	あなた自身は慰めがないままなのに。
Tausend-, tausendmal sei dir, 何千も 何千回も あれ あなたに	そのため、何千回もの感謝があなたに、
liebster Jesu, Dank dafür. 愛する イエス 感謝 そのため	なされますように。愛するイエスよ。